



令和5年度 天草市立稜南中学校 学校だより 第9号

令和6年1月19日(金)発行
文責: 校長 倉田 齊



稜南の風

令和6年幕開け 始業式

いよいよ令和6年がスタートしました。辰年は「陽の気が動いて万物が振動することで、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年」と言われています。皆さんも何事にも積極的にチャレンジして飛躍する年にしてほしいものです。

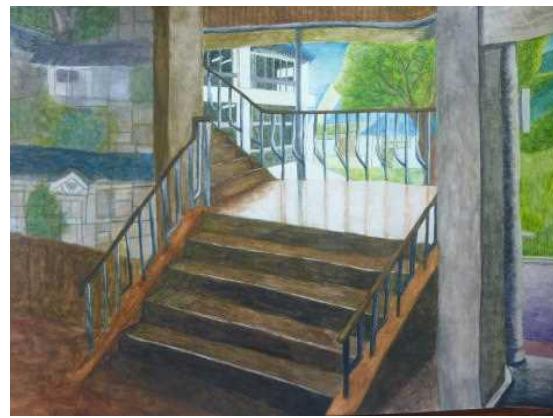


立川潤さん 濱本和真さん 木村月乃蘭さん

さて、1月9日(火)に行われた第3学期始業式では、各学年の代表者が、今年の抱負を述べました。

1年代表として立川潤さん、2年代表として濱本和真さん、3年代表として木村月乃蘭さんが登壇し、堂々と発表をしました。どの発表からも今年に賭けた思いが会場いっぱいに伝わってきました。3人の代表者の皆さん、ありがとうございました。

熊日学童スケッチ展入賞



「地賞」大塚紗希さん「光の差し込む階段」

作品は、1月5日～8日まで熊本城二の丸の県立美術館本館

本年度の熊日学童スケッチ展の結果が発表され、本校からも多くの作品が入賞しました。特に、「地賞」に選ばれた1年の大塚紗希さんの作品、奨励賞に選ばれた3年の田口瑞希さん、松岡実夢さんの

田中さん 中嶋中音研会長 出田学長



田中さん 中嶋中音研会長 出田学長

第73回熊本県小・中学校作曲コンクールにおいて、3年の田中彩絵さんの作品が複旋律の部で特選に選ばれるとともに、全部門の最高賞である「小崎賞」にも輝きました。このコンクールは、熊本県の児童生徒の作曲力の向上のために毎年実施されているもので、作品のレベルも年々高まりつつある権威あるコンクールです。田中さんの作品は「World Music Trip」という題で、80小節に及ぶピアノ曲の作品です。審査員長の平成音楽大学学長(作曲家)の出田敬三先生からは「単に自分のイメージだけにとらわれず、曲全体の構成まで緻密に考えられた作品」という講評をいただきました。

73回の長い歴史の中で、天草からの「小崎賞」の受賞は平成9年度の杉嶌ミカさん(松島町立今津中現在熊本県議会議員)以来



校訓(稜南魂スピリット): 自主 感動 創造

学校教育目標:

「郷土・学校・自分に誇りを持ち、心豊かで、賢く、
たくましい 生徒の育成

～“稜南の風”を地域に届けよう～」

26年ぶり、2人目の受賞となります。12月16日(土)に平成音楽大学で表彰式があり、22日(金)の終業式では全校生徒の前で実際に生演奏してもらいました。

これからも心に響く曲をたくさん作曲してほしいと思います。おめでとうございました。

JBAソロコンテストで立川美心さん九州大会へ

1月14日(日)にウイング松橋で第19回JBAソロコンテストが行われ、スネアドラムで出場した2年の立川美心さんが金賞受賞及び県代表に選ばれ、九州大会(2月18日玉名市民会館)に出場することになりました。また、ホルンで出場した2年の石井結望さんも金賞を受賞しました。2人ともふだんから吹奏楽部の中で熱心に練習しており、その成果が表れたのでしょう。立川さんの九州大会での活躍をお祈りしております。



立川さんと石井さん

読書量が増える!

本年度、本校は読書活動に力を入れております。昼休みは図書委員を中心となって、図書室で本を借りるよう呼びかけています。その結果、2学期までの貸し出し冊数が、昨年度より1,005冊増加し、5,956冊になりました。「本は心の栄養」と言われますが、本に親しむことで知識を増やすだけでなく、読解力を身に付け、心を豊かにしてほしいと思います。3学期もどんどん本を読みましょう！

